

令和2年度動物由来感染症サーベイランス結果報告

大阪府では、動物由来感染症の発生を防止し、又はまん延を防止するため、環境農林水産部と健康医療部が一体となって動物由来感染症の積極的な検査（サーベイランス）を実施しています。検査の結果は、下記のとおりです。

令和3年3月31日

感 染 症 名	対象動物	検体	令和3年2月まで			令和3年3月			令和2年度 計		
			検体数	陽性	陰性	検体数	陽性	陰性	検体数	陽性	陰性
結 核	牛		394頭	0頭	394頭	0頭		394頭	0頭	394頭	
腸 管 出 血 性 大 腸 菌	牛・めん山羊	糞便(農家)	74検体	0検体	74検体	0検体		74検体	0検体	74検体	
	牛	枝肉 (食肉処理場)	238検体	0検体	238検体	30検体	0検体	30検体	268検体	0検体	268検体
ウ エ ス ト ナ イ ル ウ イ ル ス 感 染 症	蚊		0匹			0匹		0匹			
	野鳥	脳	2羽	0羽	2羽	0羽		2羽	0羽	2羽	
高 病 原 性 鳥 イン フ ル エ ン ザ	鶏・アヒル	気管・クロアカスワブ	356羽	0羽	356羽	30羽	0羽	30羽	386羽	0羽	386羽
		血清	756羽	0羽	756羽	50羽	0羽	50羽	806羽	0羽	806羽
	野鳥	気管・クロアカスワブ	11羽	0羽	11羽	0羽		11羽	0羽	11羽	
	野鳥(渡り鳥)	糞便	306検体	0検体	306検体	69検体	0検体	69検体	375検体	0検体	375検体
豚 イン フ ル エ ン ザ	豚	肺	16頭	0頭	16頭	0頭		16頭	0頭	16頭	
デ ン グ 熱	蚊		0匹			0匹		0匹			
ジ カ ウ イ ル ス 感 染 症	蚊		0匹			0匹		0匹			
チ ク ン グ ニ ア 熱	蚊		0匹			0匹		0匹			
日 本 脳 炎	豚	血清	63頭	0頭	63頭	0頭		63頭	0頭	63頭	
	蚊		0匹			0匹		0匹			
ブ ル セ ラ 病	牛	血清	443頭	0頭	443頭	0頭		443頭	0頭	443頭	
レ プ ト ス ピ ラ 症	豚	腎	16頭	0頭	16頭	0頭		16頭	0頭	16頭	
	アライグマ	尿	73頭	18頭	55頭	6頭	2頭	4頭	79頭	20頭 ^{※1}	59頭
日 本 紅 斑 熱	アライグマ	血液	110頭	16頭	94頭	0頭		110頭	16頭 ^{※2}	94頭	
狂 犬 病	犬	脳	1頭	0頭	1頭	0頭		1頭	0頭	1頭	
ク リ プ ト ス ポ リ ジ ウ ム	牛	糞便	8頭	0頭	8頭	0頭		8頭	0頭	8頭	
	アライグマ	糞便	100頭	6頭	94頭	0頭		100頭	6頭 ^{※3}	94頭	
B S E	牛	延髄 (食肉処理場)	0検体			0検体			0検体		
		延髄(死亡牛)	11頭	0頭	11頭	1頭	0頭	1頭	12頭	0頭	12頭
豚 レ ン サ 球 菌 感 染 症	豚	臓器	16頭	5頭	11頭	0頭		16頭	5頭 ^{※4}	11頭	

* 1 レプトスピラ症については、感染動物の尿に汚染された可能性のある水や土壌に素手で触れないよう注意し、また触れた場合は十分に洗浄、消毒して下さい。

* 2 日本紅斑熱は、マダニ類に咬まれることにより感染する可能性がありますので、野山に入る時には肌を露出しない服装とし、虫除けスプレーを使用するなど注意しましょう。

* 3 クリプトスポリジウムは、汚染された水を飲むことにより感染することがありますので、野外で生水を飲まないようにしましょう。

* 4 レンサ球菌感染症陽性については、養豚農家へより一層の衛生対策の指導を実施しています。手指等に外傷がある人は、豚肉の取扱いの際に手袋を着用しましょう。